

製品名: ZP2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab20307**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ZP2
別名	ZP2; ZPA; Zona pellucida sperm-binding protein 2; Zona pellucida glycoprotein 2; Zp-2; Zona pellucida protein A
遺伝子 ID	7783.0
SwissProt ID	Q05996
免疫原	ヒト ZP2 の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

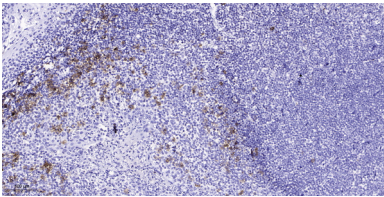
透明帯は、卵母細胞と初期胚を取り囲む細胞外マトリックスです。受精および着床前段階の発達において様々な機能を持つ 3つの糖

タンパク質で構成されています。糖鎖修飾された成熟ペプチドは透明帯の構成成分の一つであり、先体反応を起こした精子の二次的な結合と侵入に関与しています。この遺伝子を欠損した雌マウスは、安定した透明帯マトリックスを形成できず、不妊となります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2014年2月]、発生段階:排卵前の卵子形成の2週間の成長期に発現します。、ドメイン:ZP ドメインは、ZP タンパク質の重合に関与し、透明帯を形成します。、機能:哺乳類の透明帯は、種特異的な精子結合、先体反応の誘導、受精後の多精子受精の防止を媒介し、ZP1、ZP2、ZP3、ZP4 の3つまたは4つの糖タンパク質で構成されています。ZP2 は二次精子受容体として機能する可能性があります。、PTM:O-グリコシル化;硫酸基置換糖鎖を含む。、PTM:膜貫通セグメントの前でタンパク質分解的に切断され、透明帯に組み込まれる分泌型の細胞外ドメインを生成する。、PTM:受精後、N 末端部でタンパク質分解的に切断され、約 30kDa の N 末端ペプチドを生成する。このペプチドはジスルフィド結合を介して C 末端ペプチドと共有結合したままである。この切断は、受精後の多精子受精を阻害する上で重要な役割を果たす可能性がある。、類似性:ZP ドメインファミリーに属する。ZPA サブファミリー。、類似性:1 つの ZP ドメインを含む。、サブユニット:ZP2 と ZP3 のポリマーが長いフィラメントを形成し、ZP1 ホモ二量体によって架橋されている。、組織特異性:卵母細胞。、

研究分野

発生生物学、生殖、受精

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。